

1。 萌える若者たちのまちづくりに関する事業



1. 地域戦略推進事業

≪活用額: 1, 259, 222円≫

未来技術の活用や外部企業との連携など、 地域資源の価値を高める取組を具体的な施 策へ展開するため、(株)コンサドーレ、 (株)VICTAS、学校法人河合塾と包括連携協 定を結び、スポーツ振興、教育分野、地域 活性化を目指し取り組みを行いました。



2. 音楽合宿のまち「るもい」事業
≪活用額:1,686,147円≫

音楽合宿の受け入れにあたり市民力が発揮できる環境を整えることにより、合宿を通じて市民が音楽に触れ合う機会を創出し、交流人口の拡大に向け取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は依然と続いていますが、前年度より受入件数は増加し、徐々に活気を取り戻しています。



3. グラウンド整地用トラクター購入費≪活用額:4,944,500円≫

2~3年ごとに全道大会規模の大きな大会が開かれる留萌市内の野球場の整備を行うための機械の購入費として活用しました。「安心・安全なまちづくり」、「子ども達の夢と可能性が育つまちづくり」を目指し公園整備を行っていきます。

1. 萌える若者たちのまちづくりに関する事業



4. 中体連参加費補助金

≪活用額: 2, 500, 000円≫

留萌市立中学校の体育・文化振興を図るため、 各種大会・協議会等の対外活動に子ども達が 安心して参加することができるよう各団体へ 補助金を交付しました。補助金は管内での活 動の他、全道大会出場に関しても補助を行い ました。

2. ふるさとの海づくり・里山づくりに関する事業



5. 産学官連携強化事業

≪活用額: 1, 078, 104円≫

留萌市における漁業の更なる振興のため、産学官の連携による事業体制の整備を行いました。新たな沿岸漁業資源開発試験として、ミズダコ種苗生産試験と海藻類養殖試験事業を実施し、一定程度の結果と今後の課題を得ることができました。令和4年度以降も産学官の連携による事業の継続を予定しています。

3。ニシン文化の鑑素に関する事業



6. 海のふるさと館収蔵庫除湿器更新事業 ≪活用額:1,650,00円≫

数多くの文化財が保管されている海のふるさと館の収蔵庫に設置されていた除湿器が老朽化により機能が低下したことから、機器の交換を行いました。収蔵庫には「若者たち」の作曲で知られる佐藤勝氏が遺した楽譜など、貴重な文化財が保管されていることから、後世に残すための環境が整いました。

4. 食のブランド化・食育に関する事業



7. 学校給食地元食材活用事業 ≪活用額:130,702円≫

学校給食のメニューに、地場産品や郷土食を入れることで、郷土愛を育成し、食に対する興味や大切さを伝えることができました。今年度も留萌市の代表的な特産品である数の子(味付け)とテレビでも話題となりましたカズチーを提供しました。今後も引き続き本事業を通して郷土愛を育んでいきます。

5. 健康で輝きのある元気づくりに関する事業



8. るもい地域住民健康づくり啓発強化事業 《活用額:182,600円》

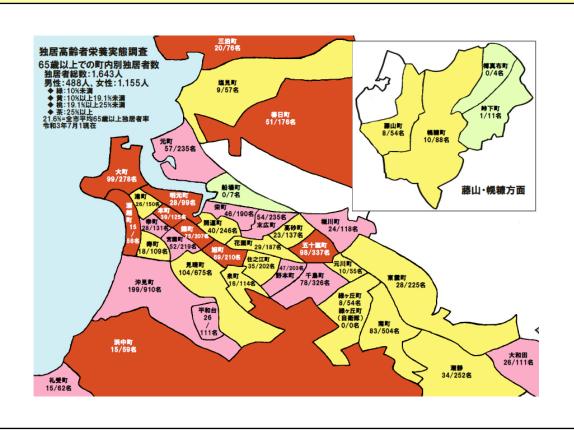
るもい健康の駅が主体となって実施している 様々な調査研究結果等を活用した予防医学の 観点からの健康を学び集う場を創出し、生活 習慣病、介護、認知症などの予防を軸とした 啓発活動を行いました。



9. 温泉施設送迎車両運行事業 ≪活用額:696,270円≫

公衆衛生の保持を目的とした、温泉施設への送迎車両「おんせんタクー留」の運行のための費用として活用しました。令和2年9月に開始した本事業は、認知・利用が広がっており、今後も事業を継続させていく予定です。

6。安心して暮らせる地域医療づくりに関する事業



10. 地域リスク介入研究推進事業委託料 ≪活用額:2、369、271円≫

高齢者社会に伴い、生活習慣病を背景とする 糖尿病・脳卒中・認知症が増加しており、特 にリスクが高いとされる独居高齢者に焦点を 当て、独居高齢者の抽出、個別・訪問健康診 断の実施を通して、生活機能の低下を未然に 防止することができました。

7. 子どもの健全な育成に関する事業



11. 寺子屋るもいっこ事業

≪活用額: 1, 537, 445円≫

「るもいの宝」である子どもたちが、勉強や遊び、体験を通じて自ら考え行動し、将来の夢を育むことができるよう、地域の方々と連携しながら「地域の学び舎」を開設しています。令和3年度は学習サポートの場を16回、体験事業を7回実施することができました。



12. 保育士確保対策助成事業 ≪活用額:200,00円≫

平成30年度から令和3年度にかけ、4年連続で待機児童が発生している状況から、保育士の確保が急務となっています。保育士養成学校に入学し、保育士資格の取得を目指す学生や、保育士資格を持つ方の就職必要となる費用に対し、留萌萌幼会が行っている貸付事業に必要な費用に対し、助成を行いました。



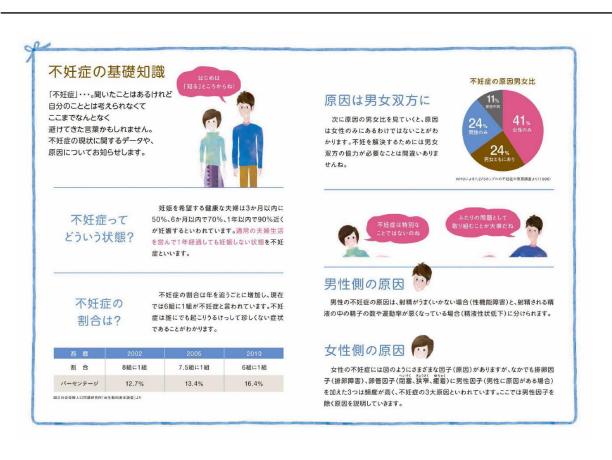
13. 冬季スポーツ環境推進事業 ≪活用額: 1, 139, 001円≫

令和2年度に導入した圧雪車を活用し、神 居岩スキー場クロスカントリーコースを整 備することで冬季スポーツ・レクリエー ション活動の充実を図りました。ゲレンデ の圧雪も併せて行い、神居岩スキー場でス キー授業を開催することができました。



14. 観光・地域ブランドカ向上事業 ≪活用額: 2, 045, 820円≫

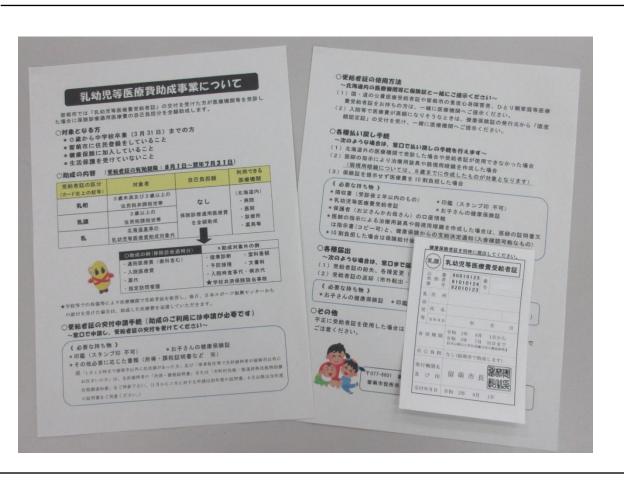
道内外都市部において、水産加工品などの特産品・観光PRを行いました新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定していたイベントが相次いで中止となりましたが、JALとの連携による地域メニューの開発、和歌山県橋本市でのPR活動、どさんこプラザ有楽町における催事などを行うことができました。



15. 特定不妊治療費助成金

≪活用額: 2, 045, 820円≫

特定不妊治療は、不妊に悩む夫妻にとって 希望がありますが、治療費は高額でかつ保 険適用がないため治療をためらう場合があ ります。経済的理由で治療をためらう方の 負担軽減を図るため本事業を実施しました。 令和3年度においては延べ22人に助成を 行うことができました。



16. 乳幼児等医療費扶助費

≪活用額: 24, 118, 660円≫

留萌市内に住む中学生までの医療費を無償化し、子ども達が安心して必要な医療を受けることができる環境を整え、子育て世代の経済的負担の軽減を図ることで、留萌市の未来を担う子ども達の健やかな成長を促しました。



17. 障害児養育支援事業委託料≪活用額:5,158,296円≫

障がいを持つ児童が、児童センターを分け隔てなく、安全に利用するため、児童センター等に必要な指導員を配置することができました。障がいを持つ児童が分け隔てなく集団の中で過ごすことにより、児童の豊かな人間形成を行うことができ、児童福祉の向上を図ることができました。



18. 防災備蓄品・資機材整備事業 ≪活用額:3, 000, 00円≫

留萌市大規模災害等が発生した場合の災害被害を想定し、留萌市防災備蓄計画を策定しており、被災者の避難生活に必要な最低限の備蓄物資や資機材の整備を行いました。



19. 自主防災活動支援事業 ≪活用額:623,184円≫

町内会・自治会が自主的に取り組む地域における防災活動を支援することで、市民一人ひとりの防災・減災に対する意識の向上と「自分たちの命(地域)は自分たちで守る」という自助・共助の防災意識の高揚を図ることができました。



20. スポーツセンター整備事業 ≪活用額:243,100円≫

スポーツセンター、勤労者体育センターの 床メンテナンスの他、フットサル用ゴール の老朽化に伴う更新を行いました。これま で鉄製であったゴールをアルミ製に更新し たことで、子どもたちでも安全に設置でき る環境となりました。



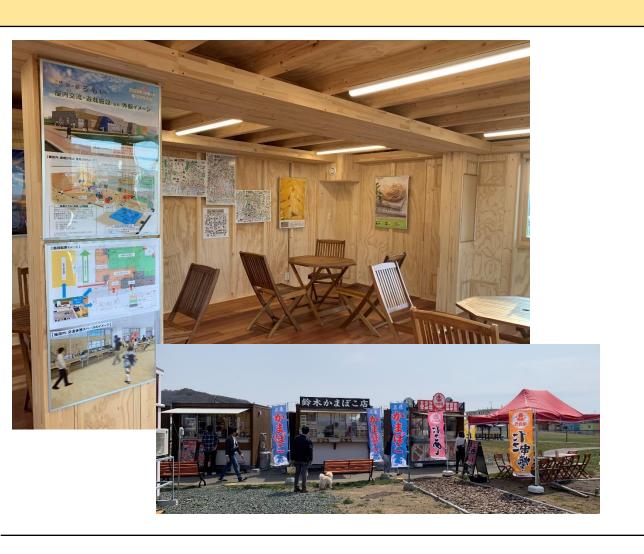
21. 公共施設官民プロジェクト事業≪活用額:3、303、515円≫

新たな公共施設の整備に関し、道の駅るもい周辺地区を中心に、行政機能の集約化や民間誘導の可能性について官民共同で検討を行いました。この結果を基本構想に反映させることで、市民目線でのまちづくりを進めていくことができると考えています。



22. 地域公共交通調査事業補助金 ≪活用額:3,566,750円≫

より持続可能な公共交通体系の構築を目指し、留萌地市域公共交通計画の策定のための調査事業を、自治体や交通事業者、利用者などで構成される留萌市地域公共交通活性化協議会において行いました。令和3年度については策定のために必要な実態の調査を中心に行いました。



23. 道の駅るもい運営事業

≪活用額:5,235,021円≫

道の駅るもいは令和2年7月に開業し、市内や管内への人の流れを作り出す留萌地域の玄関口として、新たな賑わい創出や交流拠点としての役割、道路利用者の快適性の向上と観光をはじめとした来訪者への適当を開発信の場として利用されています。 4月から10月まで、留萌の食の魅力を発信するチャレンジショップを開設し、留萌ならではの飲食を提供しています。

24. 道の駅るもい整備事業

≪活用額:13,849,938円≫

令和4年4月に道の駅るもい管理棟横に子どもたちの遊びの場を兼ねた屋内交流施設「ちゃいるも」がオープンし、設置に係る費用の一部に寄附金を活用しました。本施設は子どもたちの遊びの場である遊戯室、保護者等が子どもたちを見守りながら休むことができる交流・休憩スペース、留萌の特産品やお土産を販売しているアンテナショップが併設されています。また、留萌市内のお菓子屋さん「ルモンド」がカフェを営んでおり、色々な味の「ドーナツ団子」を楽しめます。





25. 卓球競技力強化事業

≪活用額:839,520円≫

令和3年4月1日より、指導者人材を招聘し、子どもたちの卓球競技力強化に向けた取組を進めることができました。全国大会への出場にとどまらず、大会において優秀な成績を納める選手もおり、子どもたちの夢を後押しする取組となりました。



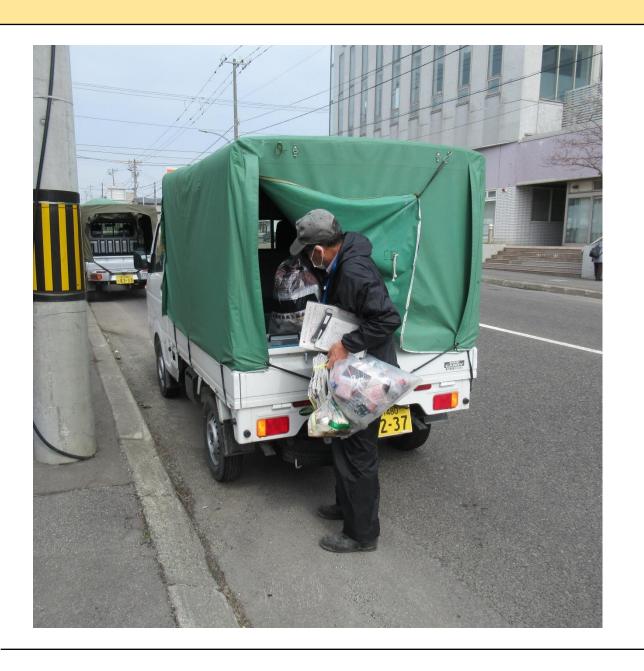
26. 地域活性化起業人人件費負担金 ≪活用額:16,914,176円≫

国の地域活性化起業人制度を活用し、株式会社VICTAS、株式会社JALセールスからそれぞれ1名社員を受け入れ、民間企業の人脈やノウハウを生かしながら、民間感覚を取り入れた新たな施策を積極的に展開しました。



27. 移住・定住促進実証実験事業 ≪活用額:932,500円≫

子どもたちの勉強・スポーツ・文化活動を応援することで地域の活性化と移住・定住人口の増加を図るため、留萌市で目標に向に向かって意欲的に取り組みたい子どもたちを対象とした事業を展開しました。令和3年度においては6名の支援を実施しました。



28. ごみ収集支援事業

≪活用額:625,200円≫

家庭から排出されるごみを所定のクリーンステーションにまで排出することが困難な家庭に対し、ごみ排出時における負担を軽減するため個別にごみを収集する事業を実施しました。令和3年6月に事業を開始し、41世帯からの申請がありました。



29. 旧北光中学校屋内運動場利活用事業 ≪活用額:546,388円≫

子どもたちのスポーツ活動や練習環境の確保を目的に、施設の改変を伴わない現状の範囲における試行的な利活用に向けて、最小限の経費により電気及び消防設備の復旧及び点検等を行いました。令和3年度においては、延べ328名が施設を利用し、スポーツ振興を図ることができました。